



中国に注目！

WPICアジア・パシフィック地域代表、鄧偉斌（トウ・イビン）氏、中国のプラチナ投資需要の将来について語る

2019年の世界のプラチナ需要の26%を占め、欧州に続いて世界で2番目のプラチナ消費国である中国。新型コロナウイルス感染症の拡大が世界経済に打撃を与える中、上海黄金交易所で買われたプラチナの量は今年の第1四半期だけでも455,000オンスとなり、2019年の四半期平均171,000オンスから一気に増大した。宝飾製造業者や産業セクター業者らがプラチナの安値を利用して在庫を増やしたとみられる。

中国ではプラチナは工業用、宝飾用の金属としてはよく知られているが、投資商品としてのプラチナはまだ比較的新しい存在。だが、これから伸びる可能性を秘めていると、鄧偉斌氏は語る。

今なぜ中国に注目すべきか

過去十年間で、中国はゴールド投資の取引所取引量、現物取引量共に世界最大となり、今や上海黄金交易所は、アメリカのCMEグループに次ぐ規模の貴金属取引所に成長した。このゴールド取引の急速な発展は、プラチナにゴールド同等の価値を見出す投資家らにプラチナ投資への道を切り開き、過去のゴールド

とプラチナ価格の相関関係や、ゴールド同様にプラチナがポートフォリオの分散化に適していることに注目が集まっている。

中国の消費者は価値ある宝飾品としてのプラチナをよく認知していることから、新たな投資資産の一つとしてプラチナを広めるのはそう難しいことではない。加えて、中国が世界第2の経済大国であること、信用できる投資商品を求める中流階級が増加していることからプラチナへの投資を大いに高められる可能性がある。

中国と他のプラチナ投資市場の違い

中国では他国と違い、銀行が貴金属投資市場の発展に果たしてきた役割が大きい。銀行の店舗や地域との強いネットワークがゴールド投資の発展に重要な役割を果たし、それをそのままプラチナ投資の開拓に利用することができる。

問題点を挙げるとすれば、中国のプラチナ市場はまだ未発達で、中国にはプラチナ先物商品がなく、二次流通市場も流動性が低い。

この点を踏まえ、WPIC は中国内のパートナー各社と共に多様なプラチナ投資商品の開発に取り組んでいる。プラチナ地金バーやコインにはゴールド商品のような優遇税制はないが、すでに投資商品として確立されているシルバー商品と遜色はない。さらには国内銀行が提供している現金決済プラチナ口座。これは海外の保管庫にある現物プラチナに裏打ちされており、国内投資家が容易にプラチナ投資を始める手段として人気がある。

WPIC が中国市場で需要喚起のためにしてきたこと

WPIC が中国で活動を始める3年前までは、少数の銀行が提供していたプラチナ口座は一般にはほとんど知られていなく、プラチナ投資商品は非常に限られていた。そこで我々はまずパートナー各社と協力して投資商品を増やすことに力を注ぎ、例えばe-コマースや窓口を通じて地金バーの販売を始めた。

次に銀行各行を通じて投資そのものを増やすための活動も行い、プラチナ投資に関する資料や人材、トレーニングプログラムを提供している。

2019年には銀行員が豊富な知識と情報を持って顧客にプラチナ投資商品やその他の投資商品を提供できるよう、3,000人以上の銀行員に対してプラチナ投資のトレーニングを実施した。またWechatやWeiboといったソーシャルメディアも使い、市場へ情報を提供したり我々の見解を発表したりしている。

そのおかげでプラチナ投資の周知度は広まり、パンダ1オンスプラチナコインに続いて、2019年には14年ぶりにプラチナ記念コインが中国人民銀行から発行された。

中国のプラチナ投資需要の伸びを確信する背景

中国のプラチナ投資が成長するためには、他国同様に、プラチナの希少性、ポートフォリオの分散化、長期保有に値する資産であること、限りある産業資源でありながら潜在的な需要が期待できるといったプラチナの特性を周知させることが必要だ。

現在のプラチナ価格はパラジウム、ゴールドと比べても過去にないほどの安値。プラチナの需給ファンダメンタルズに見合い、有益な工業用材料としての適性価格、あるいは従来通りのゴールドより高い状態まで持ち直す可能性が十分にある。特に、厳格化する排ガス規制を背景に、自動車の浄化触媒装置のプラチナ需要は潜在的に大きく、中国にとっても汚染レベルの低減は大きな課題だ。

さらに中国はエネルギーの脱炭素化を最優先目標にしており、水素燃料電池自動車の開発にも積極的に取り組んでいる。

まだ開発が始まったばかりの水素経済が将来のプラチナ需要にとって重要であることは中国の投資家もよく理解している。プラチナを触媒とした水素技術はこれから規模が拡大していくことは必至で、この点もプラチナ投資を促進していく上で大事なことである。

欧米と日本のプラチナ小売市場は、新型コロナ感染症拡大で需要増大。中国は？

当然ながら新型コロナウイルス感染症の影響は中国でも計り知れないほど大きい。3月にプラチナ価格は暴落したが、一方でそれは投資家にとって買いのチャンスとなり、

他の市場同様に主に銀行から強い需要が見られた。

中国のこれからのプラチナ投資需要を支えるその他の要因

今後、世界経済は困難な局面に入るのは明らかで、それに伴って不安材料が増え、リスクが高まることは避けられない。プラチナを含む貴金属はリスク回避可能な資産となり需要が高まるだろう。中国でもプラチナを投資資産として考える見方が増えるだろうし、それは我々が今まで努力して開拓してきたことでもある。

今までに築いてきた有力な業界団体との密接な関係を通じて、強まる投資家需要に見合う豊富な投資商品を揃えることに尽力している。

脱炭素化社会を達成するには排ガスの有毒成分を軽減し水素経済を促進することが重要であるという認識が投資需要を支えており、その実現に果たすプラチナの重要な役割と、期待は中国の投資家に共有されていると言える。



アジア・パシフィック地域代表、鄧偉斌氏

(Translated by Kazuko Osawa, JBMA)



Contacts:

WPIC London

Brendan Clifford, Investor Development, bclifford@platinuminvestment.com

Trevor Raymond, Research, traymond@platinuminvestment.com

David Wilson, Research, dwilson@platinuminvestment.com

Vicki Barker, Investor Communications, vbarker@platinuminvestment.com

WPIC Japan Japan@platinuminvestment.com

Sophia Zeng, Japan Market Development Manager, szeng@platinuminvestment.com

DISCLAIMER: The World Platinum Investment Council is not authorized by any regulatory authority to give investment advice. Nothing within this document is intended or should be construed as investment advice or offering to sell or advising to buy any securities or financial instruments and appropriate professional advice should always be sought before making any investment. Images are for illustrative purposes only. More detailed information is available on the WPIC website: <https://platinuminvestment.com/>